

常滑市新庁舎建設基本設計（案）のパブリックコメント結果について

1. 実施概要

- (1) 募集期間 平成30年11月27日（火）～12月28日（金）
- (2) 市民周知 広報とこなめ、市ホームページ、フェイスブック（ええね常滑市）、CCNC データ放送
- (3) 資料閲覧 市ホームページ、市役所（市民サービスコーナー）、青海公民館、南陵公民館、図書館、体育館
- (4) 提出方法 郵送、FAX、電子メールまたは持参

2. 意見募集結果の概要

- (1) 意見提出数 13人
- (2) 意見総数 57件
- (3) 意見の概要と市の考え方

基本設計(案)の内容に直接該当しないご意見については、「その他意見」として整理し、意見総数には含めていません。また文言の表現は統一しています。

意見の概要	市の考え方
1. 建設全般（5件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・建設コストを考え、ムダと非効率的な面は排除し、後々の維持管理なども考えた、身の丈にあった庁舎とすべきである。（4件） 	<p>共用できる部分を可能な限り集約することで、近年建設した類似人口規模の新庁舎と比較してもコンパクトに計画しています。実施設計において、さらなる事業費削減に努めていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・スピーディーかつ徹底的なVEを強く望む。 	<p>実施設計（平成31年2月～10月頃）の早期においてVE※を実施し、事業費削減に努めていきます。</p> <p>（※Value Engineering：品質を下げずにコストを低減したり、コストを上げずに品質をより良くすること）</p>
2. 建物形状（2件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・曲線、斜辺形状は建築コストの高騰を生む大きな要因である。 ・長方形の建物とすることで工事期間の短縮も可能である。 	<p>建物に曲線や斜辺形状があることは、①建設地の敷地形状、②既存の病院建物やロータリーとの関係性、③近隣住宅街に配慮した低層庁舎の実現などを総合的に判断した結果です。長方形の建物と比較した場合も、工期・コストは大きく変わらないと考えています。実施設計において、さらなる事業費削減に努めていきます。</p>

3. 4階（14件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・3階建てにすべきである。（2件） ・議会専用フロアは不要である。（4件） ・見下ろしているような印象を与えるため、議会は3階以下に配置すべきである。（3件） ・会派室は必要ない。（3件） ・見晴らしのよい4階は、市民交流ゾーンや共用の会議室、レストラン等にして欲しい。（2件） 	<p>3階建てはプロポーザルにおける設計会社からの提案であり、書庫や会議室などの必要な機能が不足していました。新庁舎に必要な面積（10,400㎡）を、できる限り低層で計画した結果、一部4階建てとしました。</p> <p>来庁者の動線を優先し、効率的に諸室を配置した結果、面積の都合上、議会関係諸室を4階に配置しました。</p> <p>議会関係諸室は現庁舎から面積の縮減を図り、必要な機能のみ計画しています。会派室は議員活動のための執務スペースとして、整備すべきと考えています。</p> <p>災害時の避難や近隣住宅街への配慮等の観点から、4階フロアは市民利用に適していないと考えています。なお、カフェやレストランについては、複数の事業者へのヒアリングの結果、想定される喫食数では運営が困難であるとのことから、整備しないこととしています。</p>
4. 平面計画（5件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・フロア計画を見直し、効率的な配置として欲しい。（4件） 	<p>諸室の機能や利用頻度、施設利用者の動線等を検討して、現在の計画としています。実施設計において、さらに効率的な配置がないか検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・市長・副市長・教育長・議員は、メイン玄関界隈に部屋を配置し、多くの市民と積極的なコミュニケーションを図って欲しい。 	<p>市長室等は、執務の効率性及びセキュリティの観点から現在の配置としました。市民とのコミュニケーションの場についてはソフトの面で今後検討していきます。</p>
5. 吹抜け（4件）	
<p>（南側吹抜け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹抜けは必要ない。 ・吹抜けは冷暖房の効率が非常に悪く光熱費が高額になる。また単独部署エリアだけの冷暖房効果が見込めない。 	<p>南側吹抜けは、市民の利用が多い待合ホールに計画し、採光の確保や圧迫感をなくすために設置しています。</p> <p>大空間・吹抜けエリアには効率の高い床吹出空調を採用し、光熱費の削減を図ります。</p>
<p>（中央吹抜け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来必ず雨漏りするのを削除すべき 	<p>新庁舎は大フロアにて計画しており、外周の窓のみでは、中央執務エリアの採光や</p>

<p>である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花粉、黄砂、PM2.5や湿度により、外気の取り入れは不向きである。 	<p>フロア全体の換気が不十分となるため、中央吹抜けを設けています。</p> <p>雨漏りは、工事施工における品質管理を十分に行うことで防ぎます。</p> <p>建物には一定量以上の新鮮外気を取り入れる必要があります。空調・換気は、関係法令に基づき最適な運用を検討していきます。また、花粉等については、運用面で対応していきます。</p>
<p>6. トイレ（4件）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが各階でバラバラに配置されているので、各フロア同じ位置に配置すべきである。（3件） ・1階のトイレは1つで良い。 	<p>来庁者及び職員の動線を考慮して配置しています。</p> <p>実施設計において、より効率的な配置を検討していきます。</p>
<p>7. エレベータ（9件）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・3基も必要ない。（7件） ・2基の横並び設置が望ましい。（2件） 	<p>個人が持つハンディキャップの有無で、施設利用のしやすさに差が生じないように配慮しました。</p> <p>1フロアを大きくとっており、上下階へのエレベータ移動は少ないと想定されるため、2基の横並び配置は不要と考えています。</p>
<p>8. 災害対応・環境計画（2件）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電と蓄電設備を組み合わせることで、常時電源を確保し、防災中枢機能を維持すべきである。 ・給湯器は燃料電池コージェネ式のものを用いて、分散型で低負荷として欲しい。 	<p>太陽光発電や蓄電設備は導入費用が高額なため、備蓄重油を利用した非常用発電設備にて必要な電力を確保するように計画しました。国の指針に基づき、3日間以上の燃料備蓄等を計画しています。</p> <p>非常時のバックアップ機能はエネルギーを分散することで信頼性が高まる一方、導入費用が高額となります。コストとのバランスを比較検討し、最適な設備（ガスマイクロコージェネなど）を導入します。</p>
<p>9. 動線計画（6件）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・車両出入口やロータリーの形状を見直すべきである。（5件） ・既存病院車両入口における歩行者・自転車の安全対策を強化して欲しい。 	<p>ロータリーは敷地高低差の関係で設けており、動線計画については車両出入口を含めて、病院建設時に十分な検討をしています。ロータリー形状の抜本的な見直しは、病院の敷地内動線に大きく影響するため、</p>

	<p>難しいと考えています。</p> <p>車両入口については、歩行者及び自転車の安全に十分配慮した計画となるよう、今後の実施設計において検討していきます。</p>
10. 駐車場（3件）	
<p>・ 駐車場は 450 台も必要ない。（2件）</p>	<p>新設立体駐車場は、来庁者用（100 台）、市職員用（300 台）に加えて、現在平面駐車場を利用している病院職員用（150 台）の利用を想定し、駐車台数を設定しました。不足する 100 台分については、病院利用者に影響ない範囲において、既存立体駐車場との相互利用などにより、解消する計画です。</p>
<p>・ 庁舎建設に先行して駐車場建設が着工されないことを強く望む。</p>	<p>立体駐車場の建設工事を庁舎建設と並行して行う場合、工事車両の駐車スペースや、作業ヤードの取り合いなどの問題が生じ、コストの高騰や工事の長期化が懸念されます。このため、立体駐車場の建設工事を庁舎工事に先行して行うこととしています。</p>
11. プラザ(歩行者デッキ)（1件）	
<p>・ 大きなプラザは必要ない。駐車場の脇を歩けばよい。</p>	<p>詳細については、実施設計において検討していきます。</p>
12. 市民交流ゾーン（1件）	
<p>・ 子どものための図書館を、利用しやすい場所に設置して欲しい。</p>	<p>市立図書館の今後の運用検討を踏まえ、必要に応じて実施設計の中で検討していきます。</p>
13. ユニバーサルデザイン（1件）	
<p>・ 議場傍聴席は、車いすで傍聴可能にするなど、全体的に身障者にやさしい施設を希望する。</p>	<p>誰もが使いやすい庁舎を目指して、ユニバーサルデザインを導入します。</p>

（4）原案の修正

基本設計は原案どおりとし、頂いた意見については実施設計において可能な限り反映して参ります。

(参考) その他意見

(1) 意見の概要

意見の概要	市の考え方
建設予定地	
<ul style="list-style-type: none">・高齢者が多く、高台は足の悪い人にとって行きづらい。・庁舎までの交通手段の検討や配慮が優先である。・常滑市民病院と半田病院の統合問題は非常に大きな環境変化であり、現方針で良いのか速やかな再考も必要である。	<p>現在の市役所は、愛知県内の市庁舎では唯一耐震性能を満たしておらず、地震が起こった際に倒壊または崩壊する危険性が高い状態となっています。また、敷地は津波の浸水区域に該当し、液状化の危険性もあります。</p> <p>これを受けて市では昨年度、「市庁舎の今後あり方を検討するための市民会議」を開催し、現庁舎の耐震化も含めた検討を行いました。市役所のあるべき姿を検討する中で、『災害に強く』『交通の便が良い』『高台』への『建替え』が望ましいという意見が多く、また同時期に実施した市民アンケートでも、『災害時の防災拠点であること』や『災害時の避難スペースや備蓄倉庫が必要』との意見を多く頂きました。この結果を踏まえ、『市民病院東敷地』への『新築移転』を決定しました。</p> <p>路線バスの充実などにより、市民の皆様が訪れやすく親しみやすい市役所を目指していきます。</p>
利便施設	
<ul style="list-style-type: none">・玄関に、カフェ・常滑焼コーナーなどの市民が親しみやすく、交流できる空間を作って欲しい。	<p>カフェやレストランについては、複数の事業者へのヒアリングの結果、想定される喫食数では運営が困難であるとのことから、整備しないこととしています。</p> <p>2階ロビーや待合スペースの使い方については、実施設計にて検討していきます。</p>
施設マネジメント	
<ul style="list-style-type: none">・長期間にわたり維持・保全していくためには、定期的なメンテナンス及び大規模改修が必須である。・市役所建物内は禁煙とし、壁をヤニで汚さないようにして欲しい。	<p>市庁舎をはじめとした公共施設の適正なマネジメントに努めていきます。</p> <p>建屋内禁煙を基本とし、喫煙ルールについては、他自治体の事例を踏まえ、今後検討していきます。</p>

議会	
・会派室が必要であれば、市民の見える場所で会派活動を行って欲しい。	会派室は議員活動のための執務スペースとして、整備すべきと考えています。
地域資源	
・常滑焼を積極的に活用して欲しい。	実施設計において検討していきます。
財政	
・これ以上借金を増やさないで欲しい。 ・市財政運営は心して健全に運営して欲しい。 ・子どもにつけを回さないで欲しい。	必要な公共施設への投資は行いつつ、適正な財政運営を心がけます。

(2) 意見の取扱い

「その他意見」につきましては、事業を進めていく上で参考とさせていただきます。